

【 第22回男子ジュニア世界選手権 】

2017年7月15日～7月28日 スペイン・ヴィーゴ

試合結果報告 7月16日 (火)

JAPAN	vs	セルビア
9	1st	9
10	2nd	12
	ex	
	ex	
19	TOTAL	21

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
2	高野 颯太					0
3	末岡 拓美					0
6	服部 将成	2	1			3
7	徳田 廉之介	1	4			5
11	藤田 龍雅		1			1
13	矢野 世人	2	2			4
15	櫻井 睦哉	1				1
16	中村 光					0
17	朝野 翔一郎					0
21	中村 翼		1			1
22	高橋 海					0
25	川崎 駿	1				1
27	大杉 拓巳					0
29	磯田 健太					0
31	青 雅俊					0
32	露木 涼	2	1			3
TOTAL		9	10	0	0	19

戦況

予選ラウンド初戦の相手は、昨年のヨーロッパ予選を9位で通過したセルビア。なんとしても勝利をしたい日本の先発メンバーは、左ウイングから矢野、川崎、末岡、徳田、櫻井、高野、中村(光)。

初戦の固さからか、開始から約6分間得点できずにいたが、矢野が獲得した7mスローのチャンスを露木がしっかりと決め、そこから日本は落ち着いた試合運びを展開する。

ディフェンスでは、高野と大杉が何度も体を張り、セルビアBP陣の強引な突破を阻止。また、GK中村がナイスセーブを連発する。オフェンスでは、徳田のミドル、服部のロングなどが要所で決まり、また、川崎と矢野が連続して相手の退場を誘うなど、セルビアにペースを握らせることなく、9-9の同点で前半が終了する。

後半に入ると、前半の勢いそのままの日本は、中村の鋭いカットイン、服部のロングなどがテンポよく決まり、さらにはGK高橋の7mスロー阻止などで、後半8分にはリードを4点に広げる。

リードをさらに広げたいところであったが、確実に決めておきたいノーマークシュートを連続して外してしまったこと、前半は守れていた相手BP陣の強引な突破を止めることができなくなったことが影響し、15分に15-15の同点に追いつかれてしまう。

その後は一進一退の攻防が続いたが、残り2分で退場の間に連続失点してしまい、19-21で敗戦。

報告記者 :

船木 浩斗